【樹木の部屋】

ヒカゲヘゴ(ヘゴ科ヘゴ属　Cyathea lepifera)

和名：ヒカゲヘゴ　別名：　モリヘゴ、アヤヘゴ

英名：Flying Spider-monkey Tree Fern

ヘゴ目　常緑木生シダ植物　　原産地：南西諸島、台湾、東南アジア

花言葉：　　花の色：

← 写真-１　ヒカゲヘゴの樹姿
撮影日：2015 年 02 月 04 日
撮影場所：大島紬村(鹿児島県奄美大島)にて
撮影者：Ｍ　さん

→ 写真-２　ヒカゲヘゴの枝
撮影日：2015 年 02 月 04 日
撮影場所：大島紬村
(鹿児島県奄美大島)にて
撮影者：Ｍ　さん

← 写真-３　ヒカゲヘゴの小枝
撮影日：2015 年 02 月 04 日
撮影場所：大島紬村
(鹿児島県奄美大島)にて
撮影者：Ｍ　さん

← 写真-４ ヒカゲヘゴの幹
撮影日：2015 年 02 月 04 日
撮影場所：大島紬村
（鹿児島県奄美大島）にて
撮影者：Ｍ　さん

奄美大島の北部にある、大島紬村を訪れた際、見かけました。最初は、幹肌の模様？が気になったのが、写真を撮るきっかけでした。遠目では、蛇のように見えました。調べてみると、ヒカゲヘゴの成長に伴って、葉柄が枯れ落ちた痕跡だそうです。この模様も、次第に細かい気根が、表面を覆い、見えなくなるそうです。

新芽や高く成長した幹の芯は食べることができ、新芽は 80cm 程度に成長したものが食用に適し、茹でて灰汁抜きしたあとテンプラや三杯酢、酢の物にして食べると良いそうです。芯は煮込むと、大根のような食感で、煮たヒカゲヘゴの芯は、八重山諸島では祭りの際に欠かせない食品だそうです。

１億年以上も前から生き残った植物だそうです。名前はヒカゲヘゴでも、陽光を好むシダ。ヒカゲは日陰の意味で、大きな葉を日傘のように広げて、他の植物に陰を提供しているところから名前がつけられたそうです。